

<b>研究構想シート</b>		学校名	邑南町立瑞穂小学校
		氏名	南部 環
A 研究主題 主体的に課題にかかわりながら、自分の思いを表現する子どもの育成 ～算数の授業において～			
B 研究の目的 算数の授業において、子どもたちが自分なりの考えをもち、友達と伝えあいながら課題を解決することができる。			
C 子どもの実態  ・課題で問われていることがわからない子がいる。 ・自分の考えを持つことや伝える力に課題がある。	E 手立て・内容（研究仮説）  ・算数の授業において、子どもたちの意識や実態について把握する中で子どもたちの困り感を把握し、その困り感を解決するための手立てを工夫し、実践することで、子どもたちが意欲的に課題解決に向けて取り組むことができるであろう。		D めざす子どもの姿  ・課題で何を問われているのかがわかり、解決の見通しが持てる。 ・自分の考えを図や絵、式、言葉などで表し、相手にわかるように説明しようとする。 ・友達の考えをよく聞き、自分の考えと比べることができる。 ・様々な考えから、より良い考えを見つけることができる。
	F 検証方法 ①児童の実態、特に困り感などについて、授業者の記録をもとに分析する。 ②児童へのアンケートを実施し、算数の授業についての意識や困り感などを把握し、授業改善への手立てを検討する。 ③改善への手立てを授業にて実践し、効果があったかどうかを検証するとともに、反省点や改善点については、次回の授業で生かす。 ④3学期に児童のアンケートを再度実施し、児童の意識の変化や取り組みの効果を調査する。		
	G 研究計画  1学期：児童の意識・実態把握と、授業における課題を発見し、改善への手立てを考える 2学期：手だてを意識した授業での実践 3学期：児童アンケートの実施と取り組みの反省、来年度への方向性の検討		